

高齢・子育て・障がい・生活困窮…
さまざまな分野が重なり合った「複雑な困りごとを抱える人」を支援する方々へ
～地域生活課題の解消に向けて～

近年、少子高齢化や人口減少が急速に進展し、経済・雇用などの社会構造の変化や個人の価値観の多様化に伴って地域社会での人と人とのつながりが希薄化しています。そうした状況の中、「8050問題」に形容されるような複雑・複合化した課題を抱える世帯が増加傾向にあり、高齢、障がい、子ども、生活困窮等といった従来の分野別の相談支援体制では対応が困難な事案が増えています。

困っていることがいくつもある
(介護も 障がいも 子育ても 生活費も…)



ひとつの支援機関では解決できない…
どのように支援すればよいかわからない



～分野をまたぐ「困りごと」に対応する仕組みが求められています～



亀岡市では、令和6年度より

「重層的支援体制整備事業」を本格実施しました

重層的支援体制整備事業は、ひとつの支援機関だけでは解決に導くことが困難な課題を地域住民・市役所関係各課や関係機関が連携し、解決に向けた支援を進めていく仕組みです。多機関協働事業の中核機関である「福祉なんでも相談窓口」を中心に、課題解決に向けた支援の連絡・調整を行い、チーム体制での伴走的支援を目指します。

重層的支援体制整備事業で取り組んでいく5つの事業

多機関協働事業

複雑・複合的な課題を抱えた方の支援について、市役所の関係各課や各支援関係機関に参集いただき、「支援会議」・「重層的支援会議」を開催し、支援者一同が情報共有を行いながら、支援方法や役割を調整し、連携して継続的な支援を行います。



相談支援事業

世代や属性を超えた相談の受け止めを行います。

アウトリーチ等 継続的支援事業

自ら支援につながる人が難しい人を見つけ、継続的な支援を行い本人との関係構築を図ります。

参加支援事業

本人のニーズを丁寧にアセスメントした上で、社会とのつながりを作るための支援を実施します。

地域づくり事業

交流・参加・学びの機会を生み出すための支援や地域福祉活動の活性化を図ります。

これらの事業へのご協力をお願いします

～対応に困っているケースについて、「一緒に悩み」「一緒に考え」解決への道を探しましょう～